



元気いっぱい、体がはずむ！

3/23 町民体力測定会

スポーツセンターで体力測定が行われ、スポーツ少年団の子どもたちを中心に、立ち幅跳び、往復走などに挑戦しました。

びほろ町

ぎかい

3月定例会のあらまし

行政報告・新年度予算など……………2P

特別委員会審査調査結果を報告

使用料・手数料の改正について……………3P

美幌町役場新庁舎建設について……………3P

こんなことを聞きました

一般質問 7人登壇……………6P

美幌町議会新体制始動

5月初議会のお知らせ……………14P

広報の発行は、5月・8月・11月・2月の年4回です。

No.232 令和元年5月1日



3月定例会

改選期前最後の議会！新年度予算などを審議

3月定例会の概要

3月定例会のあらまし

【5日】町長から行政報告を受けた後、副議長の選挙、議会運営委員の選任を行い（副議長に橋本議員、議会運営委員に岡本議員）、使用料等審査特別委員会から審査結果を報告、使用料等の改正について、全て原案どおり可決しました。続いて、新庁舎等建設調査特別委員会から調査結果を報告した後、定住自立圏形成協定の議決に関する条例、補正予算など、平成30年度関連議案を審議し、原案通り可決しました。その後、平成31年度関連議案を一括上程し、予算編成方針が示された後、議員1名（新鞍）が一般質問に登壇。美幌駅での乗車券販売などについて活発な議論が交わされました。

【6日】議員5名（戸澤・坂田・上杉・大江・岡本）が一般質問に登壇。街路灯のLED化、スマホ依存、SNS情報発信、給食費の助成、国保病院駐車場の拡充などについて活発な議論が交わされました。

【7日】議員1名（稲垣）が一般質問に登壇。災害に強いまちづくりなどについて活発な議論が交わされました。その後、各担当部長から新年度関連議案について説明を受けました。

【8、11日】前日に引き続き、各担当部長から新年度関連議案について説明を受けた後、各議員が新年度予算案に対する疑問点を整理しました。

【12、13日】各議員が疑問点を整理、資料を要求したものに対して、関係部局が資料を作成しました。

【14、15日】新年度予算案など議案に対する質疑を行ないました。

【18日】新年度予算案に対する質疑を行い、会派等審議を行った後、新年度関連議案の表決が行われ、損害賠償の追加議案を審議し、全て原案どおり可決しました。その後、定期監査報告などの報告を受け、改選期前最後の議会となるため、議長・町長から退任の挨拶が行われ、全日程を終了し閉会しました。

町長の行政報告(要旨)



◆ご寄附について

札幌市在住の東原俊郎様（太陽グループ）から、次世代を担う子どもたちの育成に役立ててほしいと、500万円のご寄附をいただきました。ご趣旨に沿って活用します。

◆新たな防衛計画の大綱等について

日本の安全保障の指針となる防衛計画の大綱等が閣議決定されました。地域経済や雇用、災害発生時の対応など美幌駐屯地の充実強化を求めため、さらなる活動を積極的かつ精力的に推進していきます。

※その他、教育長の辞職（平野浩司氏）について報告がありました。

ごみ処理など料金改定決定！〈使用料等審査特別委員会報告〉

受益と負担の公平性の確保など適正な料金を設定するため、昨年12月、町から使用料等改定の提案がありました。議会では、広く町民に負担を求める重要な案件であることから、使用料等審査特別委員会を設置し慎重に審査をした結果、3月定例会ですべて原案どおり可決しました。審査過程での指摘事項は次のとおりです。

審査過程の指摘事項（要旨）

1 集会室使用料に関わる管理委託料について

集会室の使用料収入が減少し、受託自治会の大きな財政的負担となっている。各施設の指定管理者等から費用負担の状況を聴取し、管理委託料見直しなど、負担軽減をできるだけ速やかに検討されたい。



2 集会室使用料の格差是正について

地域の集会室は、コミュニティ活動、地域の防犯、防災など、行政と町民との協働作業の拠点である。利用実態が同じでも僅かな面積の大小により料金格差を設けることが妥当なのか、今後の検討課題とされたい。

3 町内利用者と町外利用者の料金格差について

将来の人口減少を見据え、広域連携による無駄のない施設の有効利用など、地域間交流の推進、交流人口の誘引を考慮し、将来において町内外利用者の料金格差是正も視野に入れ、料金のあり方を研究されたい。

4 高齢者の使用料のあり方について

今回の改正では、受益者負担の原則と理解しつつも、高齢者の社会参加を支援する政策的観点から、町の財政状況に配慮しながら、高齢者の使用料無料化を検討課題とされたい。

5 条例の施行日について

今回の改正は、今後予定されている消費税増税改正と重なることから、町民に不安を与えぬよう、使用料等改正の主旨を町民へ十分に説明されたい。

施設・サービス使用料などの負担を町民が適正に分かち合い、利用者がどこまで負担すべきか、また町民が納める税でどこまで補うべきかの考え方についてより具体的に論議していくことも必要である。引き続き、議会として、住民全体の立場に立ち、効率的で適正な行財政運営となっているのか監視、議論していきたい。

【10月からの主な料金改定内容】

- 1 廃棄物等手数料（ごみ袋、家庭系直接搬入ごみ）の25%増
- 2 網走川河畔公園パークゴルフ場使用料の増
 - ・ 町民1日券が100円から200円に
 - ・ 1シーズン券が20%増
 - ・ 町外者利用の割増（50%増、1日券が300円）
 - ・ 75歳以上利用者が無料から有料に



一般会計 102億4千802万円

停電対策用備品整備・

廃棄物処理場雨水整備工事・

ロータリー除雪車購入など

平成31年度予算編成は、人口減少に伴う歳入減少や複数の公共施設整備による財源確保など、厳しい状況を念頭に置きながらも第6期美幌町総合計画に掲げる事業の着実な推進及び第2次美幌町財政運営計画に沿った編成作業を取り進めてきました。

本年は4月に統一地方選挙の年であり、当初予算については町政運営の基本的な経費の計上を中心とした骨格予算の位置づけとなりますが、いまだ厳しい状況にある地域経済や住民サービスの向上、継続事業である公共事業整備など政策的な経費であつても町政運営の円滑な推進を図るために必要な予算を計上し、一般会計で100億を超える予算規模となりました。

ここでは、一般会計を中心に、予算質疑の内容をお知らせします。

総務費

新庁舎建設支障物

撤去等工事

(1千22万円)

工事内容は、

新庁舎建設にあたり、旧石炭ボイラー用煙突・公用車用車庫・イチイの木等の撤去費用が888万円。

町民憲章・旗掲揚ポール等の移設費用が134万円となっております、平成31年5月～7月の工事を予定している。



～ 撤去する煙突 ～

地域集会施設備品整備補助金(144万円)

内訳・補助基準は、

自治会会員の高齢化に対応するため、機とイスを整備する。今年度は、旭自治会等6

自治会で整備する予定で、補助基準は、机1台あたり2万1千円以内、イス1脚あたり9千円以内、補助率3分の2以内(限度額50万円)としている。

民生費

全道障がい者

スポーツ大会負担金

(78万9千円)

大会の内容は、

全道障がい者スポーツ大会の開催は、今回で57回目となり、平成18年に美幌町で車いす

バスケットボール競技が開催されて以来、2回目となる。今回、美幌町では、サッカー競

衛生費

風しん抗体検査・

予防接種委託

(303万8千円)

内容・対象者は、

39歳から56歳の男性を対象に、検査・予防接種を行う。うち46歳以下には個別に受診券を送付する。



農林水産費

モアツリーズ・

トリエンナーレ負担金

(35万円)

事業内容は、

技の開催が予定されている。

森林保全団体モアツリーズ(代表・音楽家 坂本龍一氏)との森林整備協定調印式、森林環境講演会などを予定(8/3～5)している。

商工費

「峠の湯」駐車場

電源供給設備設置工事

(119万9千円)

工事内容・目的は、

美幌町内に観光客を呼び込み、通過型観光から脱却するため、「峠の湯びほろ」に、

キャンピングカーでの宿泊を可能とする電源供給設備を整備し、R



一般会計歳出予算と主な事業

◆新規事業 ◇拡充事業 (対前年比)

| | | |
|--------------------------|--------------|----------|
| 議会費 | 8,245万2千円 | (△0.7%) |
| 総務費 | 5億8,195万7千円 | (30.5%) |
| ◆新庁舎建設支障物撤去等工事 | 1,022万円 | |
| ◇地域おこし協力隊事業 | 1,209万4千円 | |
| ◆停電対策用備品整備 | 2,297万円 | |
| 民生費 | 24億9,056万8千円 | (△10.3%) |
| 衛生費 | 10億2,815万8千円 | (3.4%) |
| ◇乳幼児等予防接種事業 | 3,679万9千円 | |
| ◆風しん抗体検査及び風しん定期接種委託料 | 303万8千円 | |
| ◇産後健診・産後ケア費用 | 205万1千円 | |
| 労働費 | 2,823万6千円 | (△15.0%) |
| 農林水産業費 | 5億7,128万1千円 | (1.8%) |
| ◆優良繁殖牛奨励事業補助金 | 150万円 | |
| ◇オホーツク東部広域農業水利組合管理協議会負担金 | 4,696万2千円 | |
| ◆森林経営管理事業 | 805万5千円 | |

| | | |
|----------------------|---------------|----------|
| 商工費 | 4億4,223万円 | (△4.0%) |
| ◇観光物産協会補助金 | 1千2万3千円 | |
| ◇特産品開発支援事業補助金 | 150万円 | |
| ◆「峠の湯びほろ」駐車場電源供給設備工事 | 119万9千円 | |
| ◇観光和牛まつり補助金 | 500万円 | |
| 土木費 | 11億9,433万1千円 | (2.4%) |
| ◆除雪車両整備 | 7千282万9千円 | |
| 消防費 | 4億4,566万6千円 | (△10.6%) |
| 教育費 | 9億1,605万4千円 | (△34.7%) |
| ◇美幌高等学校教育支援事業補助金 | 465万4千円 | |
| ◆小中学校扇風機・保健室エアコン設置 | 425万円 | |
| 公債費 | 10億289万8千円 | (△8.2%) |
| 職員給与費 | 13億6,319万7千円 | (3.3%) |
| 予備費 | 100万円 | (0.0%) |
| 合計 | 102億4,802万8千円 | (△6.1%) |



英語表記を修正する。

町民・来訪者にわかりやすい公共サインとするため、施設名や

道路案内標識修正業務委託(176万7千円)

土木費



～ RVパーク ～

RVパークを運営する。

小中学校扇風機・エアコン設置(425万円)

設置場所は、児童生徒の熱中症予防対策のため、各教室及び体育館に扇風機、保健室にエアコンを設置する。



～ 美幌高校 ～

特進コースの生徒を対象に、希望進学等を実現するため、オンライン授業による自宅学習の環境整備を行う。

美幌高等学校学習環境整備補助(54万円)

助成内容は、

教育費

公共下水道特別会計

下水道ストックマネジメント計画策定委託(1千200万円)

事業内容は、老朽化した下水道管渠の点検・調査を行い、修繕計画を策定する。汚水管について、管口テレビカメラによ



～ 美幌博物館 ～

美幌町にゆかりのある写真家・前川貴行氏の動物写真を展示し、野生動物の生きる奇跡の瞬間にふれる写真展を開催する。

美幌町にゆかりのある写真家・前川貴行氏の動物写真を展示し、野生動物の生きる奇跡の瞬間にふれる写真展を開催する。

博物館特別展開催(446万2千円)

特別展開催内容は、



～ 国民健康保険病院 ～

停電発生時に対応するものとして、電子カルテ機器等へ電源供給するための電気設備改修で219万3千円。

人工透析装置の防災用自家発電機設置に必要な施設及び電気設備改修で675万円の修繕を予定している。

修繕内容は、

防災設備電気改修・防災発電機導入設備修繕(894万3千円)

病院事業会計

る管渠内及びマンホール内点検調査を行う。

新庁舎建設「安心・親しみ」実現に期待〈新庁舎等建設調査特別委員会報告〉

美幌町役場新庁舎建設について、特別委員会を設置（平成29年9月）し、様々な角度から比較検討を行い論議を深めてきました。3月定例会で最終とりまとめの報告をしましたので、概要をお知らせします。

1 新庁舎等建設の必要性について

現庁舎は、建設後57年が経過し、震度6以上の振動及び衝撃に対して倒壊及び崩壊する危険性が高い状況であり、耐震補強工事を行っても将来、大規模改修が想定されることから、新庁舎建設を進める必要がある。

2 基本理念及び新庁舎の機能について

①安心…「防災拠点としての役割」、「ユニバーサルデザイン・バリアフリー機能」について、役割・機能を十分に発揮できる新庁舎となることに期待したい。「セキュリティ機能」については、庁舎管理に対応した効率的な機能とされたい。

②親しみ…「憩いの場」については、建設費用・面積の観点から必ずしも庁舎内に交流スペースを設けず、休日等の駐車場未使用時にイベントを開催することも検討されたい。

③便利…窓口機能の強化、執務機能について、来庁者に配慮された窓口、相談室等の配置となるよう、町民、職員の意見を聴取検討されたい。

3 議会機能の整備について

①議場の議員議席数については、現状の14議席とされたい。

②議場の説明員席については、機器整備が増大とならないよう最小限とされたい。

③議場の映像配信・録画録音設備を整備されたい。現状システムで使用できる場合は活用されたい。

④傍聴者に配慮された個数のモニター、スピーカーを設置されたい。

⑤委員会室については、現在、議場で使用している録音が可能なマイクシステムを移設整備し、プロジェクター、スクリーンを設置されたい。

4 新庁舎の基本指標について

①美幌町行政組織のあり方、役職、職員の配置など、町民にとってわかりやすい組織を検討し、新庁舎建設に反映されたい。

②計画での新庁舎の規模は、おおむね4,500㎡と示されているが、行政以外の団体等の庁舎利用計画を精査し、保健福祉総合センター、町民会館の活用も視野に入れ、建設面積の圧縮に努められたい。

メインコンセプトの「人と未来をつなげる空間」、「安心」、「親しみ」、「便利」が実現される新美幌町役場庁舎建設となることを期待したい。



～ 美幌町役場新庁舎完成予想 ～

こんなことを決めました

一般質問には

7人が登壇

質問者と質問項目

■新鞍 峯雄 議員 …… 7頁

①美幌駅でのJR乗車券販売

②NHKのど自慢の招致

■戸澤 義典 議員 …… 8頁

①危険性ごみ収集処理

②街路灯等LED化

■坂田 美栄子 議員 …… 9頁

①健康マイレージ

②子育て支援拡充

③子どものスマホ依存

■上杉 晃央 議員 …… 10頁

①新庁舎完成後の

空きスペース活用

②SNS活用による情報発信

■大江 道男 議員 …… 11頁

①国保税均等割の減免

②国連家族農業の10年

③給食費の無償・一部助成

■岡本 美代子 議員 …… 12頁

①国保病院駐車場の拡充

②危険ごみスプレー缶処理

③性的少数者への対応

■稲垣 淳一 議員 …… 13頁

①災害に強い町づくり

②防災「DOはぐ」の普及

③美幌子ども食堂支援

J R 美幌 問 駅トイレの多目的改修の考えは

新鞍
峯雄議員

答 大規模改修となるため要望を把握し検討する



問 J R 美幌駅が平成28年5月に無人化となり、街中の商工会議所でJ R 乗車券が販売されていたが、今年4月から美幌駅構内の美幌物産協会で販売される。

J R 乗車券の販売は駅構内のどこになるのか。

答 J R 乗車券の販売場所は、駅構内の観光案内所及び都市間バス乗車券販売窓口となっている。



～ 無人化となった出札室 ～

問 美幌駅が無人化となる前の出札室は、現在、空きスペースとなっている。今後の活用予定は。

答 J R 北海道からは、無人駅の未活用スペースを無料で活用できるとされているが、間仕切り壁の設置や電源工事など財政負担があることから、活用する状況には至っていない。

問 J R 乗車券販売場所変更の周知方法は。

答 町広報・ホームページ、公共施設・商工会議所・観光物産協会窓口でのポスター掲示を行う。また、J R 北海道の新聞等折り込みチラシ配布を要請する。



～ 美幌駅 ～

問 観光案内所への支援の考えは。

答 J R 乗車券販売業務を受託する観光物産協会に対して、売り上げ手数料を除いた人件費を支援する。



～ 観光案内所 ～

問 駅トイレ多目的改修の考えは。

答 美幌駅に隣接する「林業館きてらす」の利用者増に伴い、ベビーチェア・手すりの設置を行ったが、多目的トイレとして整備するには、大規模改修が必要となることから、要望等を聞きながら検討したい。

NHKのど自慢

招致する考えは

問 NHKのど自慢放送のイベント招致により、全国に町をPRする考えは。

答 イベントを開催するには、観客席を800席以上確保できる会場が必要になる。

美幌町では、スポーツセンターでの開催が可能と考えられるが、照明設備の設置や床の保護など多額の経費が必要となり、開催は難しい。
町の全国へのPRは、様々な媒体や機会を通じて進めていきたい。

危険ごみ 問 スプレー缶処理による事故防止策は

戸澤 義典 議員

答 缶のガス抜き方法等周知徹底を図りたい



問 昨年12月、札幌市において、スプレー

缶のガス抜き作業が原因となる爆発火災事故が発生し大きな問題となった。このことを受け、国から「スプレー缶を処理する際には穴を空けない」とする周知徹底の考えが示されたが、対応が徹底されていないのが現状である。

ンベは「必ず使い切つて、穴を空けずに出してください」と収集要領が変更になった。



答 美幌町では、スプレー缶収集・処理による収集車等の火災事故を考え、スプレー缶処理の際には穴を空けることとし

ていたが、札幌市の火災事故、国の通知を受け、ごみ収集・処理業者と協議のうえ、缶には穴を空けないで排出することとした。



今後も適切なスプレー缶のガス抜き方法や缶をごみとして出す際に穴を空けないことなど町民への周知徹底を図ってきたい。

問 使用済みボタン電池同士の接触による火災事故の事案もある。電池等有害ごみの捨て方について、現状と今後の対応を伺いたい。

答 事故を未然に防ぐために、電池の使い切りやビニールテープでの絶縁後の回収ボックス利用など周知徹底していききたい。

街路灯LED化

コスト削減は

問 町内街路灯等LED化事業の進捗状況は。

答 街路灯・防犯灯のLED化は、平成30年8月から開始し、今年1月末で完了している。

LEDの取り換え灯数は、合計2千240灯で、新設した

防犯灯は88灯、撤去した街路灯・防犯灯は73灯となっている。

問 街路灯等LED化による工事費、維持管理費等経費について伺いたい。

答 街路灯等LED化の工事費は3億9千743万円、10年間のリース料は、7千483万円となっている。

問 LED化事業による維持管理経費の削減はどの程度か。

答 試算では、年間1千76万円のコスト削減を見込んでいる。



健康づくり 問 健康マイレージ事業の今後の取り組みは

坂田 美栄子 議員

答 楽しく健康づくりができるよう検討したい



問 町では、健康づくり推進のため、健康マイレージ事業に取り組んでいる。事業の現状は。

答 健康づくりの無関心層を掘り起こし健診受診者を増やす目的で、平成29年度から健康マイレージ事業に取り組んでいる。事業内容は健診受診者や講演会参加者などのポイント達成者に景品が贈られるもので、平成29年

度の申請者は340名（うち達成者161名）、平成30年度（1月末現在）の申請者は538名（うち達成者291名）となっている。



問 事業の成果は。

答 事業評価のひとつとして、健診結果説明会参加率の向上が挙げられる。説明会に参加することで自身の健康状態を把握し、生活習慣を見直す機会ができたと考えている。

問 今後の課題、取り組みは。

答 町民が楽しみ関心を持てる事業内容を検討し、健診受診率の向上、健康づくりの推進を図ってきたい。

問 子育て支援

答 本町の出生数は年々減少し、平成29年は110人、平成30年は91人となっている。

子育て支援

拡充の考えは

問 本町の出生数は

年々減少し、平成29

年は110人、平成

30年は91人となっ

ている。

出生数減少に歯止

めをかけるため、子

育て支援拡充の考え

を伺いたい。

答 本町では、保育料の軽減、中学校卒業までの医療費無償化等を実施し、子育て世帯の負担軽減を図っている。

また新規の支援策として、産後ケア事業の実施やおたふくかぜ・ロタウイルスワクチン接種費用助成等を予定している。今後も安心して子育てができるよう、経済的負担の軽減や保健・医療・福祉の連携による「切れ目のない支援」に努めていきたい。

子どもスマホ依存

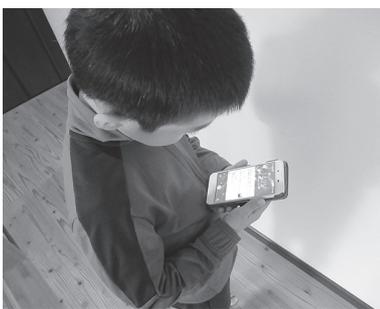
問題対策は

問 子どものスマホ依存、インターネットトラブルが問題となっている。対策は。

答 インターネットの長時間使用は、集中力の低下や心身不調などを招く要因となることから、各家庭でのルール作りが必要である。

各学校でもスマホの持ち込みを原則禁止としている他、「ネット安全教室」で正しい利用方法などの指導を行っている。

今後も情報モラル教育の充実や家庭と連携したルール作りの啓発活動に努めていきたい。



新庁舎建設 問 庁舎完成後の空きスペースの活用は

上杉
晃央議員



答 関係団体と円滑に業務ができるよう活用したい

内の連携強化を図ることとしたい。

移転集約後の空きスペースについては、他の町有施設を利用しての団体に移転を打診し協議を進めている。

問 役場新庁舎完成後の保健福祉総合センター及び役場庁舎別館の空きスペース活用の考えを伺いたい。

答 新庁舎完成後は、保健福祉総合センター内で執務する民生部

の一部、社会福祉協議会、地域包括支援センターと役場庁舎別館の経済部、農業委員会を新庁舎に移転集約し、来庁者の利便性の向上、組織

今後新庁舎完成後に速やかに空きスペースを活用できる環境を整え、老朽化した施設の縮減が図られるよう取り組んでいきたい。

問 保健福祉総合センターで活動している「えくぼ福祉会」は、活動人数が増え、作業スペース等が手狭である。空きスペース活用の考えは。

答 作業スペースの確保以外にも、駐車場も必要のため、他の団体とも調整しながら公平に活用したい。



～ 喫茶えくぼ ～

SNS情報発信

町の情報を全国へ

問 総務省の調査では、日本におけるSNS月間利用者は、

ライン7千800万人、ツイッター4千500万人、インスタグラム2千900万人、フェイスブック2千800万人となっている。

4つのSNSを積極的に活用し、情報発信、共有、拡散することは美幌町のPRに有効と考える。町民を対象にSNS活用教室を開催する考えはないか。

答 一方的な情報発信であるホームページに対し、SNSは双方向での情報発信・受信が可能で、宣伝効果が大きく、災害発生時の情報伝達手段としての活用も高まっている。

一方、SNSは個人情報流出などトラブル・犯罪に発展す

る危険性があるため、安心して利用できる環境整備が課題となっている。

SNS活用教室の開催については、講座形式の開催、まち育出前講座など団体やグループ活動を支援できる取り組みを検討したい。

問 SNS活用は、コストがあまり掛からない取り組みである。平成31年度からの実施は可能か。

答 出来るものから順次取り組んでいきたい。



国民健康保険

問 保険税均等割の子ども分減免の考えは

大江 道男議員

答 現状では難しいが、国へ財政負担等要望したい



地方税法で課税が必須とされており、加入者の多い世帯のそれに見合う負担は、一定の合理性がある

問 国保税の加入者数に応じて課税される均等割について、他の医療保険制度では非課税となっていて「子どもの均等割課税を廃止・減免」する考えはないか。

答 国保税は世帯の負担能力に応じて課税する所得割と資産割、受益の程度に応じて課税する加入者均等割と世帯平等割で税額が算定される。均等割については、

また保険税を減免

した場合、免除した財源は他の国保加入者が負担することとなり、国保会計の持続的な財政運営、負担の公平性を保つことから、現状では難しい。

今後負担能力がない子どもへの均等割課税のあり方の検討や国に対する軽減措置に伴う財政支援などを要望していきたい。



国連家族農業10年

町の考えは

問 国連が示す「家族農業の保護・育成」について、国・道からの具体的な対応方針を含めた「国連家族農業10年」への町の対応を伺いたい。

答 国・道から国連決議に対する具体的な対応方針は示され

ていないが、国は家族農業を地域農業、食料安定確保の重要な担い手として位置付けている。

町としても農業経営基盤強化資金、産地パワーアップ事業、経営体育成支援事業などを活用して、農業者の所得向上を図っていききたい。



給食費無料・助成

検討状況は

問 国では子育て支援策の一環として、全国での小中学校給食費の無償・一部助

成の実施を約3割と公表している。

美幌町での学校給食費の無償・一部助成の検討状況を伺いたい。

答 学校給食は、良質な内容の学校給食を提供するため、保護者に食材費を負担してもらっている。

給食費の助成については、オホーツク管内等他自治体の助成状況を参考に調査・研究を進めていききたい。



国保病院 問 不足する病院駐車場を拡充する考えは

岡本 美代子 議員

答 職員駐車場の移転、町施設活用で対応したい



問 国保病院の患者数が増え、駐車場が不足している。駐車場の拡充予定について伺いたい。

答 病院には、158台分の駐車場があるが、職員及び町外の通勤者の増加により来客用駐車場を圧迫している。 駐車スペースを確保するため、コミュニケーションセンターの一部を職員駐車場として使用し、駐車スパー

スの確保に努めている。 駐車場の拡充については、職員駐車場の移転、病院周辺の町有施設の活用を検討したい。



～ 国保病院駐車場 ～

問 病院玄関前の花壇を改修し、駐車場を拡充する考えはないか。

答 花壇の設置は、患者・ご家族の安心

につながる。まずは、職員駐車場を別の場所に求めることを優先したい。

危険ごみ対策

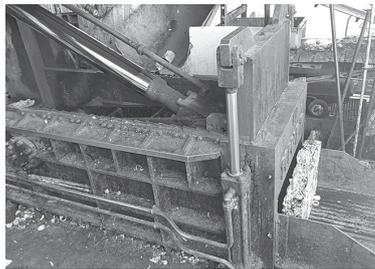
スプレー缶収集後は

問 昨年12月、札幌で消臭スプレーの大量使用による爆発火災事故があった。

町では、スプレー缶は、使い切った穴を開けずに排出してほしいとしていますが、スプレー缶収集後の処理作業について伺いたい。 答 今年2月から、スプレー缶の排出時には穴を空けないようお願いしている。

収集後の処理作業

については、処理業者において、充填物がないか確認後、アルミ缶とスチール缶に分別し、他の缶類と一緒にプレス機で圧縮している。



～ 缶プレス機 ～

性的少数者(LGBT)

対応取り組みは

問 性的少数者(LGBT)への取り組みについて、専門家は「行政が先導して、誰もが住みよいまちづくりを進めていく必要がある」と指摘している。

北見市は、平成31年度から一部の申請書等で性別欄を廃止する方針である。

誰もが住みよいまちづくりや時代の流れを考慮し、LGBTへの配慮や札幌市のパートナーシップ宣誓制度など調査・研究すべきでは。

答 LGBTへの取り組みについては、まず多様な性について知ること、性的指向・性自認に関する知識を持ち、理解を深めることが必要と考える。

各種申請書などの性別欄については、庁内で調査を行い、性別の必要性を検討し、町として何ができるのか研究したい。

災害対策 問 冬期停電による避難所体制は

稲垣 淳 議員

答 冬期訓練のノウハウを取得し検討したい



問 昨年9月の胆振東部地震では全道一斉停電「ブラックアウト」が発生した。北見市の日赤看護大学では冬の災害発生での対応能力向上を目指して、「厳冬期避難所展開・宿泊演習」が行われた。冬期間における停電は、命に直結する問題である。避難所体制、備蓄品、避難所内での過ごし方等、取り組みを伺いたい。

答 避難所の暖房機器については、町内19カ所の避難所に、灯油ストーブ・ジェットヒーター・毛布を配備し、燃料確保は北見地方石油業協同組合と防災協定を結んでいる。さらに必要整備数などの検証を進めていきたい。

冬期間の避難所生活においては、積雪、寒冷などによる様々な制約や災害によるストレスが問題とされていることから、非日常的な環境を体験する生活体験型訓練実施のノウハウを取得し検討していきたい。



～ ジェットヒーター ～

防災教育「D.O.はぐ」

取り組みは

問 避難所運営・防災教育ゲーム「D.O.はぐ」の利用状況、活用方法の考え方を伺いたい。

答 「D.O.はぐ」は、図上訓練ゲームで、避難所運営をイメージできるものとなっており、町では、自主防災総合訓練や民

生児童委員協議会と地域包括支援センターの共催による合同研修会として実施している。

「D.O.はぐ」は、自助・共助の意識高揚のため有効な手段であり、避難所運営を地域の皆さんに担ってもらうシミュレーションとして効果的である。引き続き、推進していきたい。

美幌こども食堂

支援の考えは

問 全町民を対象とした「美幌こども食堂」は、子どもたちを中心とした地域コミュニティの活性化

につながる活動を行っており、のべ利用者は千人を超えた。子どもと高齢者の見守りの場・居場所

づくりなど健全で安定的な事業を継続させるため、町で支援する考えはないか。

答 NPO法人やボランティア団体が地域の子どもたちに、無料・安価に食事を提供する「こども食堂」が全国各地で開設されており、地域共生社会実現の役割が期待されている。

「美幌こども食堂」の支援については、団体のボランティア活動を尊重しながら、人材支援や情報提供といった側面的な役割を考えている。



～ 食堂会場「青稲会館」～

任期を終えて (退任あいさつ)



美幌町長 土谷 耕治

町長としての3期12年にはさまざまなことがありました。

国では、地方自治体の財政健全化に向けた健全化法が制定されました。また、平成19年のリーマンショックと世界同時不況が進行し、地方財政にも大きな影響があり、大変厳しい財政運営を強いられ、行財政改革を進める中で、町民の皆様には我慢、負担を強いたりしたこともありました。

美幌町においても、少子高齢化や人口の急激な減少は避けられません。自己決定、自己責任、そして、自己負担を伴う覚悟が必要であり、新たな発想とシステムによるまちづくりの取り組みが求められることは明らかであります。ふるさと美幌の総力の結集がなければ、美幌の未来は開けないと思っています。

この12年間、自分なりに美幌町のためにと精いっぱい町長職を務めさせていただきました。町民の皆様には大きなご声援や力強いお言葉などをいただきました。心から感謝申し上げます。(要旨)



美幌町議会議長 大原 昇

私は、4年前、町民に見える議会を目指し議長に就任しました。

この間、様々な節目の時期でもありました。美幌町130年、北海道命名150年、議会制度ができて70年という大きな節目に、議長に就任して体験をさせていただいたことは、私のこれからの生涯に役立つものと思っています。また、美幌駐屯地の存続、縮小など大きな節目の時期でもありました。町長とともに行った様々な陳情要望により、現在、美幌町にとって良い方向に向かっています。

今後、美幌町の人口減少を考えると、自衛隊の存在は、第1次産業の農業、そして商業、工業、運輸業、全てに対して大きな影響がありますので、次の議長、町長と一緒に少しでも力になればと思っています。

この4年間、皆様のお力をお借りし、そしてここまで来れた事を深くお礼申し上げます。

(要旨)

議会を傍聴しませんか

定例会は年4回(3月・6月・9月・12月)開かれ、議場入口にある受付票に住所及び氏名を記入いただければ、どなたでも議会を傍聴できます。

6月定例会は6月18日(火)頃から開かれる予定です

日程が正式に決まり次第、町のホームページなどでお知らせします。

美幌町議会新体制で始動!

議員改選後初となる臨時会が5月10日(金)に開催される予定です。

当日は、議長・副議長の選出、常任委員会委員等の選任が行われ、第19次美幌町議会での新たな4年間のスタートします。



あとがき

▼今年の冬は降雪量も少なく暖冬でした。農業においては生育不良、病害などが懸念されますが、秋の豊作を祈るばかりです。

▼昨年は道内でも台風被害や胆振東部地震とそれに伴う全道的なブラックアウトが発生しました。美幌町としても様々な災害対応準備を行っていますが、まずは自分でする事は自分ですという「自助の精神」が大切です。▼新元号が「令和(れいわ)」となり、町議会も新体制となります。町民皆様の多様なご意見をいただき美幌町の未来につながる4年間としていきたいと思えます。(義典)

議会運営委員会

委員長 戸澤 義典
副委員長 岡本美代子
委員 橋本 博之
委員 上杉 晃央
委員 稲垣 淳一